

令和8年度 桐生市立西小学校経営構想図



学校の教育目標 [基本目標]

自ら考え行動し、心豊かにたくましく生きる子供の育成

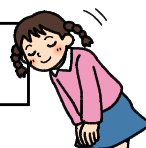
目指す児童像 [具体目標] 「かしこく やさしく たくましい」



かしこく (知)

- ◎主体的に物事に取り組む実践力を持つ子
- ◎自分事として考え、思いが伝えられる子
 - ・きまりを守り、けじめがつけられる子
 - ・自分のよいところを伸ばそうとする子
 - ・自分と違う考えから、新たな気づきや発見をしようとする子
 - ・間違いや失敗を恐れず、試行錯誤しながら、挑戦しようとする子

やさしく (徳)



- ◎素直で明るく思いやりのある子
- ◎返事やあいさつがきちんとできる子
 - ・違いを認め尊重し、互いに助け合い、励まし合うことのできる子
 - ・自然やものを大事にし、自らができるところを考え、行動できる子

たくましく (体)



- ◎運動に親しみ進んで体を鍛える子
- ◎基本的生活習慣を身に付けた子
 - ・自らの目標の達成に向けて粘り強く取り組む子
 - ・SNS等の適切な使用について、理解し自らの健康や安全に気を付ける子

目標達成に向けた指導の重点

- ①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『はばたく群馬の指導プラン』を参考とした授業改善・授業改革を推進する
- ②思考力・判断力・表現力等を育成するために、日々の授業における協働学習や発問を工夫する
- ③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、活用力を育むための指導(ドリル学習・図書の活用・家庭学習等)の徹底を図る
- ④互いに認め合い、支え合い、学び合える「間違えても大丈夫!」といった心理的な安心・安全が確保された集団づくりと授業中の積極的な生徒指導を推進する

- ①道徳科を中心に、あらゆる機会をとらえて道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる支援を行う
- ②児童の個性の伸張を図りながら、個々の自己実現を支援し、望ましい生活行動の実践化を図る
- ③児童相互、教師と児童の人間的なふれあいを基盤とし、時・場所・状況に応じた個別指導・集団指導の充実に努める
- ④学習上・生活上に困難を抱える児童への正しい理解をもとに自立と社会参加に向けて、関係機関と連携を図り、組織的に指導を行う

- ①発達段階に合う運動量が確保された体育の授業を工夫するとともに、遊びの中で体を動かし、運動の楽しさを味わわせ、習慣化を図る
- ②メディアコントロールも含めた規則正しい生活の重要性を理解させ、実践しようとする意欲の向上を図る
- ③自己の夢や目標に向かって主体的に努力する活動体験を充実させる
- ④健康安全は自分で守ろうとする意識、態度、能力を育てる

目指す学校像 ～♡みんな笑顔♡～



学校経営方針

- ① 児童が楽しく過ごし、夢を描ける学校
 - ・毎日、晴れやかな気持ちで登校できる学校
 - ・(失敗してもその日のうちに解決し、翌日に引きずらない)
 - ・自らの能力を発見し、伸ばし、発揮できる学校
 - ・仲間との和を大切に、規律と秩序の中で真剣に学べる学校
 - ・安全で安心して過ごせる学校
- ② 保護者が親しみや安心を感じられる学校
 - ・必要な情報(マイナスだけでなくプラス)を発信、受信できる学校
 - ・保護者も子供とともに学び、歩む学校
 - ・安心して相談できる開かれた学校
- ③ 地域から愛され、信頼される学校
 - ・地域に貢献し、地域から期待され、地域とともに歩む学校
 - ・学校内外の環境整備に心掛け、地域の財産となる学校
 - ・来校者や電話対応等、挨拶や言葉遣いを丁寧に行う学校
- ④ 教職員が職務にやりがいを感じられる学校
 - ・不断の研究と修養に努め、自覚と誇りを持って職務に臨める学校
 - ・児童理解に努め、健康で明るく温かい人間力で指導・支援する学校
 - ・困ったときは相談できる働きやすい職場づくりを進める学校
 - ・情熱と使命感を持ち、職員が協力し合い補い合って、児童のために協働する学校
 - ・職員自らが「夢」を語り、学びへの好奇心をもつことで、児童の鑑となり、互いの成長を促す学校

- (1) 学校運営組織の充実・改善
「チーム西小」を自覚し、校内研修等を通じて教師としての力量や特性を高め、個々の「教師力」を向上させる。また、情報を共有し、組織としての協働態勢で教育を推進する。
- (2) 学力の向上
 - ・児童一人一人が、自己存在感や自己有用感を感じられる指導・支援を行うとともに、肯定的な評価を推進する。また、幼小連携・小中連携・小中連携並びに高校や大学等と積極的に交流する。
 - ・基礎的・基本的な知識や技能の定着を基盤とした上で、「自己決定」「対話・交流」「試行錯誤」の3つの場面を意識した問題解決的な学びを取り入れる。
- (3) 豊かな心の育成
人権感覚を磨き、「思いやりの心」「命を大切にする心」等の育成に努めるとともに、教育活動全体を通して道徳性の育成を図る。
- (4) 体力の向上と健康安全教育の充実
体育の授業や体育的諸行事の充実を図り、運動の楽しさや心地よさを味わわせる中で、児童自らが、体力の向上、健康づくり、安全意識の向上に努めることができるよう支援する。
- (5) ふるさと西・郷土桐生を愛する子供の育成
地域の人的・物的教育資源の活用を図るなど、家庭・地域・関係団体等との連携を深める。

本年度の努力点

1. 学校運営組織の充実・改善

組織で動き、取り組む学校運営

- ・些細なことでも報告・連絡・相談（よくない話題こそしっかり伝える）
- ・情報や出来事を多面的・多角的にとらえ迅速に対応
- ・教師としての能力の向上と資質の涵養（教師力は授業力＝学ぶ教師集団）
- ・積極的な授業公開で授業力を向上
- ・心身共に健康で職務に精励できる職場 心理的安心・安全な環境づくりの推進

2. 学力の向上

自ら学ぶ意欲をもつ児童の育成

- ・基礎・基本の習得と言語活動の充実
- ・指導の工夫や授業の改善・充実
- ・家庭学習の習慣化
- ・読書を楽しむことができる児童の育成

3. 豊かな心の育成

豊かな心を持ち、たくましく生きる

- 児童の育成
- ・道徳科の授業を要とし、教育活動全体を通じて実践
- ・あいさつの励行と整理・整頓・清掃の徹底（＝人権尊重の基礎・基本）
- ・自己有用感を育む教育活動の充実

4. 体力の向上と健康安全教育の充実

運動の楽しさを知り、健康安全に 気をつけられる児童の育成

- ・体育の授業及び体育的行事の改善・充実
- ・健康や安全は自分で守る意識や態度及び能力の育成
- ・食育の推進
- ・安心安全な環境づくり

5. 開かれた学校

（地域に開かれた教育課程）

- ・地域の人的・物的資源の積極的な活用
- ・郷土理解の推進
- ・地域の行事や催し物への参加や協力
- ・近隣の幼稚園・小学校・中学校・高校・大学との連携の充実

○指導の重点 《 自ら考え、行動し、たくましく生きる子どもの育成 》

1 学校運営の重点 「チーム学校(西小)」の実現

- ①時代の変化に応じて即座に対応できる、しなやかな発想の職員集団を構築する
[変化や失敗を恐れず、前向きに挑戦し続ける職員集団づくりを進める]
[単なる前年踏襲や批判や否定ではなく、建設的で丁寧な議論による合意形成を図る]
- ②外部機関や専門機関との連携・活用を積極的に推進する
[少子化や学級減が進む学校が自前でやり繰りできる世の中ではない。任せられることは任せる。]
- ③教職員各自が力量を高め、社会から信頼される教職員集団づくりを進める
[学級減による教職員減（特配含む）に対応すべく個人の資質能力の向上を図る]
- ④勤務時間等の労働安全衛生管理への意識をもち、業務の改善や効率化を進め、働きやすい職場づくりに取り組む
[数年後に予定されている適正配置を見据え、削減・効率化する意識や時間や資源・光熱費に対するコストも意識する。]

2 かしこく [知]

◇教科等指導の重点 「確かな学力」の育成

- ①児童がエージェンシーを発揮し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善・授業改革を推進する
- ②基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、活用力を育むための指導(ドリル学習・図書の活用・家庭学習等)の徹底を図る
- ③思考力・判断力・表現力等を育成する
- ④学ぶことへの興味・関心を高め、自力で調べ、考え、解決する児童を育成する
- ⑤互いに認め合い支え合い学び合える集団づくりと授業中の積極的な生徒指導を推進する

3 やさしく [徳]

◇人権教育の重点

「やさしさ ほほえみ おもいやり」をキーワードに、人権感覚を磨き、誰もが人として尊重され、大切にされる学校づくりを推進する

(1) 道徳教育 「豊かな心」の育成

- ①道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての学習を深める道徳科の授業を改善・充実させる
- ②道徳科を要としながら、あらゆる機会をとらえて道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導支援を行う
- ③郷土愛・環境保全・生命尊重・規範意識等を育むための体験活動や集団活動に積極的に取り組む

(2) 生徒指導 「いじめゼロ宣言」の実現

- ①児童の個性の伸張を図りながら、一人ひとりの自己実現を支援し、望ましい生活行動の実践化を図る
- ②児童相互、教師と児童の人間的なふれあいを基盤とし、時・場所・状況に応じた個別指導・集団指導の充実に努め、児童に充実感や自己存在感・自己有用感を育む
- ③全教職員の共通理解を図り、物事の善悪や道理等について、毅然としたふれられない指導を行う

(3) 特別支援教育 「みんなちがってみんないい」学校づくり

- ①特別支援教育の視点から全児童をとらえ、全教職員が全学級で推進する
- ②学習上・生活上に困難を抱える児童への正しい理解をもとに自立と社会参加に向けて、関係機関と連携を図り、組織的に指導を行う

4 たくましく [体]

◇健康・安全教育の重点 「楽しく運動健康づくり」の推進

- ①児童の発達段階に合わせ、運動量を十分確保した体育の授業の工夫改善を行う
- ②遊びの中で体を動かし、運動の楽しさを味わわせ、習慣化を図る
- ③健康安全は自分で守り、体力を向上させるという意識、態度、能力を育てる
- ④学校給食の教育的効果を生かし、学校教育活動全体を通じて望ましい食習慣を身に付ける
- ⑤安全点検の励行、危機管理体制の整備と安全教育の充実を図る
[可能な範囲で、休み時間等も子どもたちと過ごす(遊ぶ)ことで小さな変化や信頼関係を築く]

5 地域の教育力の活用 「地域の子供は地域で育てる」体制の啓発

- ①教育課程に則り、計画的に地域教材や人材の活用を図る[学校ボランティアの充実]
- ②地域を知り、地域に出向き、世代を越えた地域の人との交流を大切にした教育課程の編成・実施に努める
- ③「桐生を好きな子供」、桐生を基盤として世界に羽ばたく子供を、地域が総力をあげ一体となって育てる意識を涵養する

